

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

反撃を 団結を 貫く 売店、営業、転運

あらゆる職場に責任を もちきこる労働組合へ！

当局が、五月十八日から一方的に強行してきた営業（駅）、売店の強制配転との本格的な闘いが六月一日、営業・売店の「本務」発令をもってはじまろうとしている。動労千葉総体の反撃で配転された仲間を守りぬき、さらには動労千葉―動労総連合の強化・拡大をかちとり、住田―松崎連合を解体せよ。

怒りを燃やし総反撃へ

今回、当局が強行した強制配転に対して、われわれは、改めて怒りを燃やし、総反撃に立たなければならない。

五月八日に、本人の意志や希望を一切聞くことなく事前通知を強行し、さらに、十八日からは一方的に発令を行うなど、全くデタラメな攻撃なのである。

これに対し動労千葉は、職場での反撃・意志統一、営業対策委員会の設置、駅別の班編成を行うなど、反撃体制を築き上げてきた。

そして、六月一日からの営業、売店の「本務」発令により、本格的な反撃が開始されるのだ。

動労千葉の闘いに自信と確信を

われわれが反撃するうえで最も重要なことは、この間、動労千葉が「分割・民営化」反対を掲げ、二波のストライキ、七波の順法闘争を闘いぬき、そして、今

なお不屈に闘いぬいているということに、自信と確信を持ちきることである。さらにもうひとつは、当局の先兵・動労革マル松崎―鉄道労連を絶対に許してはならないということだ。

運動、営業（駅）、売店、すべての職場から動労革マル―鉄道労連を一掃し、運転職場への復帰をかちとろう。

動労総連合の強化・拡大が勝利をみちびく

また、動労総連合の強化・拡大をかちとるといふことから、あらゆる職場に責任をもちきる労働組合を目指して闘いぬかなければならないということであり、営業（駅）、売店などの労働条件の改善、職場要求の解決をはかっていくことは極めて重要なことである。

運動、営業（駅）、売店を貫く動労千葉の団結力をもって、当局・動労革マルの動労千葉破壊を粉碎しよう。

物品販売

オルグ団全国で奮闘中

労使協調の保険会社 昨年夏、冬の物販はの組合に行ったら、やらなかったが、何「闘うすがたを見た 度も足をはこぶうちい」と言って映画の に信頼されて今回は券二枚買つ。（東京） 取り組む」（神奈川）

協賛だより 5月 協賛 13.500
夏季物販 団全国各地へ 出発します
協賛 13.500
協賛 13.500